

イントのヒールがカム山の一番高いところに乗って開いた状態にします(図4)。

(2) 次にキーをONにして、きれいなマイナスドライバーを図4のように当ててすばやく離します。

この時、ポイントにパシパシと火花が飛んで同時にプラグに火花が飛ば、ほとんどが「ポイント面の汚れ」、または「ポイント面の荒れ」です。

ポイント面のお手当はポイントヤスリがあればいいのですが、なければ300番程度の紙ヤスリを細く切って二つ折りにしましょう。それも無い出先では、コンビなどで箱マッチを買ってスリ板をバラシ、ポイント面に差し込んでゴシゴシとヤスリます。

面が平たくなったら、燃料用アルコール(メタノール)ときれいなウエスでポイント面の油汚れを落とします。メタノールが手に入らない出先などでは、きれいなウエス、バンドナヤ名刺、ハガキなどを差し込んで、よく油汚れを落とすしてください。

そしてポイントキャップを、ポイントがカム山に乗って開いた状態で0.5mmになるように、ポイントプレートのネジを緩めて調整します。シックネスゲージがない時は、最近の名刺を二つ折りにすると約0.5mm弱になりますから参考にしてください。これより広過ぎてても狭過ぎててもNGです。これで火花チェックしても火花が出なければプラグコード不良の可能性も考えられますが、プラグコードが前後同時にイカれることはかなり考えにくいことです。そこで、次にコイルのチェックをします。

図5の配線を外して(純正は白色)金属部分にパシパシと当てて、ここに火

花が出れば(+)側はOKです。これをコイルに元通りに付けて、次に(-)側(純正は青白色)つまりポイントに向かっている配線をコイルから外して、適当な配線をのよりに付けてキーをONにし、この線の一方の端を金属部分にパシパシと接触させます。ここでプラグに火花が飛ばば、イグニッションコイルはまずOKです。逆に、火花が出なければ「コイル不良」が考えられます。この場合はスベアのコイルがなければアウトです。

ダイナSを使っている時は、以上の方法でプラグに火花が出る場合、つまりコイルがOKの場合は、ダイナS本体の不良が考えられます。

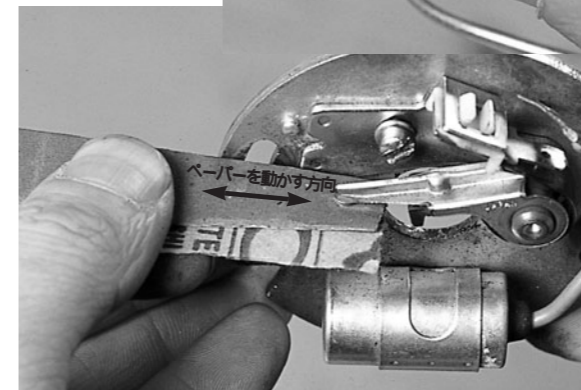
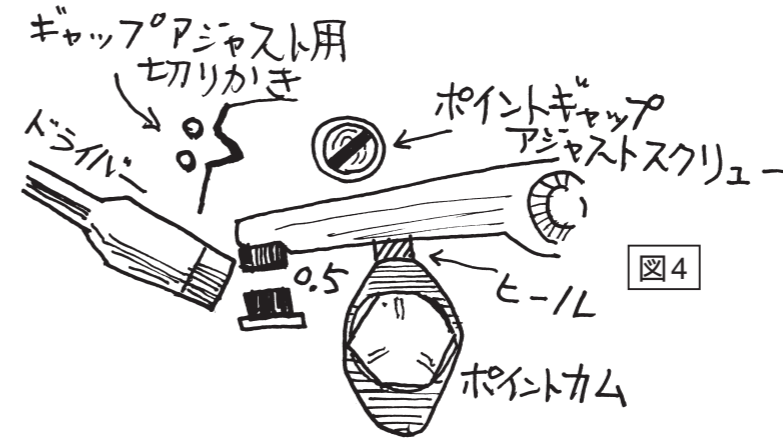
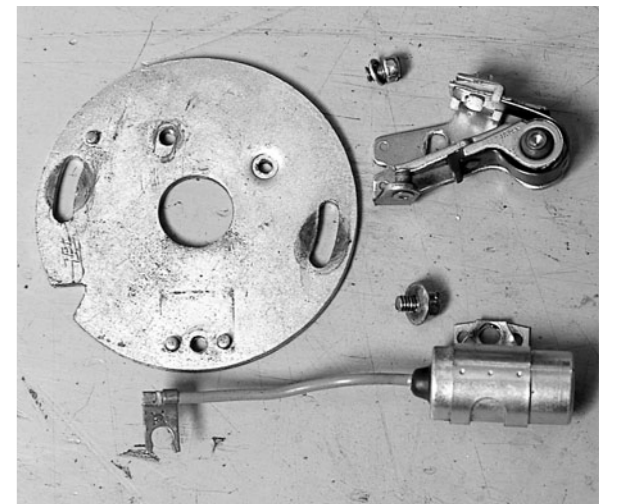
余談ですが、ポイント点火、またはダイナSを使っているマシンには、コイルは5(オーム)を使います。ノーマルなどのトランジスタイグナイター(フルトランジスタ点火)は3を使います。

「後悔しないね?」そう言うトキ(1)は、猛り狂ったイチモツをカップヌードルの中に突っ込んだ。



ポイントの点検

ポイントとカムの接点であるヒールをカム山の一番高いところに乗せて、ポイント面(接点)のギャップが0.5ミリになるように調整する。これがポイントキャップの正規の状態。この状態において、接点をドライバーでカチコチやって接点とプラグから火花が出れば、エンジンのかからない原因は「接点の汚れ」、もしくは「接点の荒れ」が考えられる。また、火花がまったく出ない場合には「コイルの不良」が考えられる。



ポイントの接点は開閉を繰り返すうちに白く焼けたり、ひどい場合は欠けたりすることもある。接点が欠けた場合は300番程度のペーパーで磨ききれいな状態にする(上下の接点の面が平行になるように)。他にもヒール部分が摩耗していないか、支点(可動部分)にガタがないかもチェック。摩耗やガタがひどい場合は新品に交換するのがベスト。

ポイントの調整



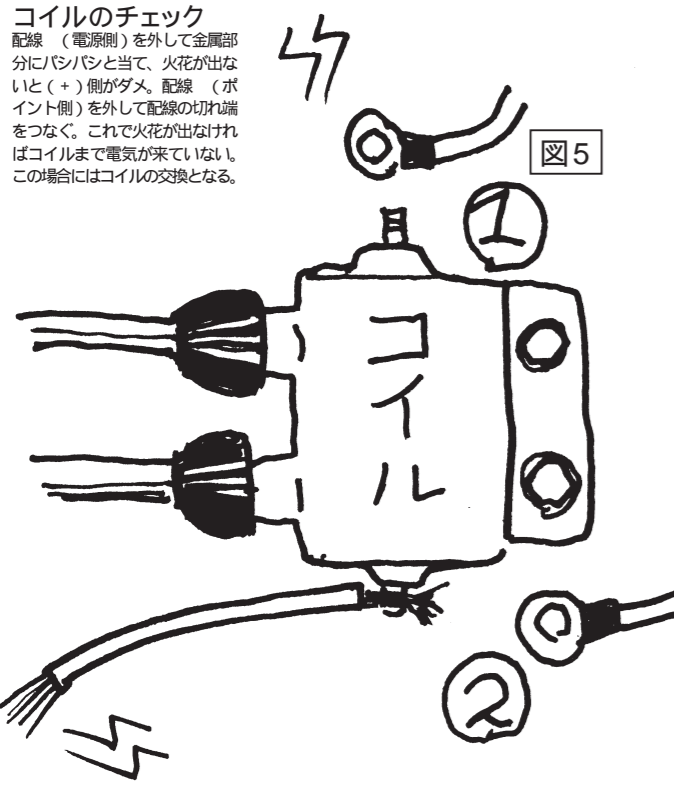
ポイントを固定しているマイナスネジを若干緩め、ポイントの左側にある窪みとプレートの凸部分にドライバーを当て、テコの原理でポイントを動かす。ゲージを使い、接点間を約0.5ミリに合わせる。



ギャップ調整を終えたら、マイナスネジを締めてポイントを固定する。このネジを紛失して代わりに長いサイズのネジを使う場合は、そのままではプレートの裏にあるガバナに干渉するので、プレートから出過ぎないように短くカットすること。

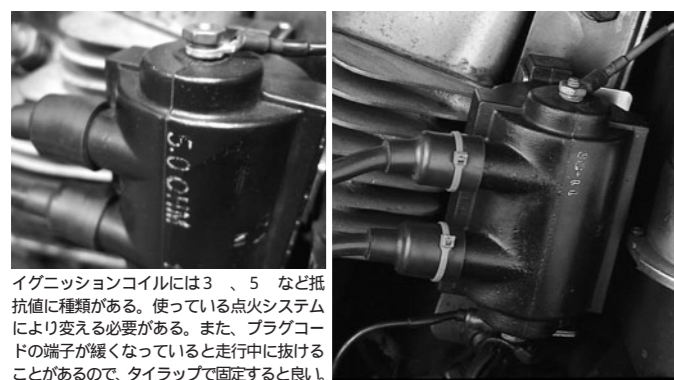


ポイントの接点のギャップは、ポイントカムの2つの山(幅の広い方と狭い方)にそれぞれポイントのヒールが乗った時に同じ数値にならないといけない。違いがあればポイントカムの摩耗、カムの軸となるガバナのガタ、プレートの歪みが考えられる。



コイルのチェック

配線(電源側)を外して金属部分にパシパシと当て、火花が出ないと(-)側がダメ。配線(ポイント側)を外して配線の切れ端をつなぐ。これで火花が出なければコイルまで電気が来ていない。この場合にはコイルの交換となる。



イグニッションコイルには3、5など抵抗値に種類がある。使っている点火システムにより変える必要がある。また、プラグコードの端子が緩くなっていると走行中に抜けることがあるので、タイラップで固定すると良い。

1...VIBESのタダ...いや、誰のことでしょう?